

# 目次

## 第1章 調査概要

1 - 1	評価の目的	1
1 - 2	評価調査団員	1
1 - 3	評価対象国、対象分野、および対象案件	1
1 - 3 - 1	タイにおける対象案件	2
1 - 3 - 2	フィリピンにおける対象案件	3
1 - 4	評価範囲	4
1 - 5	現地調査日程および主な面談者	5
1 - 5 - 1	タイ現地調査行程	5
1 - 5 - 2	フィリピン現地調査行程	6
1 - 5 - 3	タイ現地調査の主な面談者	7
1 - 5 - 4	フィリピン現地調査の主な面談者	8

## 第2章 評価手法

2 - 1	PDMの作成	9
2 - 1 - 1	PDM作成の目的	9
2 - 1 - 2	事後的なPDMの作成について	10
2 - 1 - 3	本評価調査におけるPDMの基本的位置付け	10
2 - 1 - 4	PDMにおける外部条件の位置付け	14
2 - 2	PDMと評価5項目との関係	16
2 - 3	評価グリッドの作成	19

## PDMおよび評価グリッド

タイ	27
PDM	27
評価グリッド	35
フィリピン	51
PDM	51
評価グリッド	61

### 第3章 評価結果（タイ）

3 - 1	メクロン川流域カンパンセン灌漑農業開発計画調査(F/S)	81
3 - 1 - 1	対象案件の概要および背景	81
	(1) 開発調査の概要	81
	(2) 開発調査実施の背景：メクロン川流域の開発の歴史と開発調査の経緯	81
	(3) 開発調査の特徴	85
	(4) 評価調査から導き出される結論	85
	(5) その他	86
3 - 1 - 2	評価5項目による評価結果	86
	(1) 効率性	86
	(2) 目標達成度	87
	(3) インパクト	87
	(4) 妥当性	87
	(5) 自立発展性	87
3 - 2	メイクワンかんがい農業開発計画調査(F/S)	87
3 - 2 - 1	対象案件の概要および背景	87
	(1) 開発調査の概要	87
	(2) 開発調査実施の背景	87
	(3) 開発調査の特徴	87
	(4) 評価調査から導き出される結論	88
3 - 2 - 2	評価5項目による評価結果	88
3 - 3	サカエクラン川流域灌漑計画調査(F/S)	91
3 - 3 - 1	対象案件の概要および背景	91
	(1) 開発調査の概要	91
	(2) 開発調査実施の背景	91
	(3) 開発調査の特徴：環境	91
	(4) 評価調査から導き出される結論	93
3 - 3 - 2	評価5項目による評価結果	93
3 - 4	チャオピア川流域水管理システム及び監視計画実施調査(M/P)	94
3 - 4 - 1	対象案件の概要および背景	94
	(1) 開発調査の概要	94
	(2) 開発調査実施の背景：タイの水資源管理	94
	(3) 開発調査の特徴	97
	(4) 評価調査から導き出される結論	97
3 - 4 - 2	評価5項目による評価結果	97

### 第4章 評価結果（フィリピン）

4 - 1	イロコスノルテ灌漑計画(F/S)	101
4 - 1 - 1	対象案件の概要および背景	101
	(1) 開発調査の概要	101
	(2) 開発調査実施の背景	101
	(3) 評価調査から導き出される結論	104
4 - 1 - 2	評価5項目による評価結果	104

4 - 2	マビニ地区農業開発計画(F/S)	110
4 - 2 - 1	対象案件の概要および背景	110
	(1) 開発調査の概要	110
	(2) 開発調査実施の背景	110
	(3) 評価調査から導き出される結論	112
4 - 2 - 2	評価5項目による評価結果	112
4 - 3	かんがい組織維持管理強化計画(AMRIS、18地区)(F/S)	113
4 - 3 - 1	対象案件の概要および背景	113
	(1) 開発調査の概要	113
	(2) 開発調査実施の背景	113
	(3) 評価調査から導き出される結論	117
4 - 3 - 2	評価5項目による評価結果	117
4 - 4	かんがい組織維持管理強化計画(UPRIIS)(F/S)	118
4 - 4 - 1	対象案件の概要および背景	118
	(1) 開発調査の概要	118
	(2) 開発調査実施の背景	118
	(3) 評価調査から導き出される結論	120
4 - 4 - 2	評価5項目による評価結果	121
4 - 5	マガットかんがいシステム維持管理強化計画(M/P)	124
4 - 5 - 1	対象案件の概要および背景	124
	(1) 開発調査の概要	124
	(2) 開発調査実施の背景	124
	(3) 評価調査から導き出される結論	127
4 - 5 - 2	評価5項目による評価結果	127

## 第5章 開発調査の評価手法にかかる提言

5 - 1	過去に実施された案件の評価と新規形成案件のための評価の違いの明確化	129
5 - 1 - 1	過去に実施された案件の評価	129
5 - 1 - 2	新規形成案件のための評価	130
5 - 2	新規形成案件のための評価手法の検討	130
5 - 2 - 1	事前段階から事後までの一貫した評価手法の検討	130
5 - 2 - 2	協力形態に応じた評価視点の検討の必要性	130
5 - 3	評価実施体制の整備	131